

1991年度

平城宮跡発掘調査部  
発掘調査概報



1992

奈良国立文化財研究所

口絵



第 213 次調査 第二次朝堂院東第四堂の遺構全景（北東から）

## 凡 例

1. 本書は、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が、1991年度に実施した平城宮跡、平城京内遺跡、および法隆寺境内の発掘調査の概要報告である。各調査報告の執筆は、各現場の発掘担当者が行なった。
2. 左京三条一坊七坪の調査（第231次）及び西隆寺旧境内の調査（第227次、第228次、第223-21次）については、本書に概要を収録したが、別途報告書が刊行される予定であり、詳細はそれによらねたい。
3. 発掘遺構図に付した座標値は、平城宮内遺構、平城京内遺構共に国土方眼第VI座標系による座標値である。高さはすべて海拔高で示す。
4. 遺構図には、遺構ごとに一連の番号を付け、番号の前に、S A（築地・塀）、S B（建物）、S C（廊）、S D（溝・濠）、S E（井戸）、S F（道路）、S K（土坑）、S S（足場）、S X（その他）などの分類記号を付した。なお遺構番号のなかには仮番号で示したものを含んでいる。
5. 平城宮出土軒瓦・土器の編年は次のように表わす（カッコ内は西暦による略年代）。平城京内についてもこれを準用した。  
軒瓦；平城宮出土軒瓦編年第Ⅰ期（708～721）、第Ⅱ期（721～745）  
第Ⅲ期（745～757）、第Ⅳ期（757～770）、第Ⅴ期（770～784）  
土器；平城宮土器Ⅰ（710）、Ⅱ（725）、Ⅲ（750）、Ⅳ（765）、Ⅴ（780）、  
Ⅵ（800）、Ⅶ（825）

# 目 次

I	平城宮の調査	
1	朝堂院第四堂の調査	第213次 …………… 3
2	式部省・式部省東役所の調査	第222次 …………… 20
3	壬生門北方の調査	第224次 …………… 39
4	東面大垣内側の調査	第233-16次…………… 48
5	西面大垣の調査	第223-10次…………… 53
II	平城京の調査	
6	東院南方遺跡の調査	第223-9次 …………… 56
7	左京二条二坊々間路西側溝の調査	第223-13次…………… 69
8	田村第推定地の調査	第223-20次…………… 71
9	市庭古墳東辺部の調査	第223-7, 14次…………… 83
10	宮北方の調査	第223-2次 …………… 85
11	右京一条二坊八坪の調査	第223-19次…………… 86
12	左京三条一坊七坪の調査	第231次 …………… 88
III	京内寺院の調査	
13	頭塔の調査	第232次 …………… 91
14	西隆寺旧境内の調査(1)	第228次 …………… 94
15	西隆寺旧境内の調査(2)	第227次 ……………100
16	西隆寺旧境内の調査(3)	第223-21次……………102
17	西大寺境内の調査	第223-11次……………107
18	西大寺旧境内の調査	第223-1次 ……………111
19	海龍王寺旧境内の調査	第223-18次……………112
20	薬師寺宝積院の調査	第223-3次 ……………115
21	薬師寺西面大垣の調査	第223-17次……………136
IV	法隆寺の調査	
22	若草伽藍跡の調査	第225次 ……………139
23	北方子院跡の調査	第226次 ……………149
V	出土遺物の報告	
24	長屋王邸および二条大路出土の木製品 ……………	155



